

2019年度特別支援教育に関する実践研究充実事業  
 (新学習指導要領に向けた実践研究)  
 成果報告書 (概要)

受託団体名
福井県

## 1 指定校の一覧

設置者	学校種	課程又は障害種	学校名 (ふりがなを付すこと)
福井県	特別支援学校	視覚障害	福井県立 <small>もうがっこう</small> 盲学校
福井県	特別支援学校	聴覚障害	福井県立 <small>ろうがっこう</small> 立ろう学校
福井県	特別支援学校	肢体不自由	福井県立 <small>ふくいとくべつしえんがっこう</small> 福井特別支援学校
福井県	特別支援学校	病弱・肢体不自由	福井県立 <small>ふくいひがしとくべつしえんがっこう</small> 福井東特別支援学校
福井県	特別支援学校	知的障害	福井県立 <small>ふくいみなみとくべつしえんがっこう</small> 福井南特別支援学校
福井県	特別支援学校	知的障害	福井県立 <small>れいほくとくべつしえんがっこう</small> 嶺北特別支援学校
福井県	特別支援学校	知・肢・病	福井県立 <small>おくえつとくべつしえんがっこう</small> 奥越特別支援学校
福井県	特別支援学校	知・肢・病	福井県立 <small>なんえつとくべつしえんがっこう</small> 南越特別支援学校
福井県	特別支援学校	知・肢・病	福井県立 <small>れいなんひがしとくべつしえんがっこう</small> 嶺南東特別支援学校
福井県	特別支援学校	知・肢・病	福井県立 <small>れいなんにしとくべつしえんがっこう</small> 嶺南西特別支援学校

## 2. 事業の実績

### (1) 事業の実施日程

実施時期	実施内容	評価事項
年間	就労応援サポーター企業募集	・14 事業が追加登録 (累計 259 事業所)
年間	就労応援サポーター企業等による作業学習時の技術指導および中高合同作業学習 (各指定校)	・喫茶サービス、清掃等の作業のほか、新たに組み紐や革細工、寄せ植え等の技術指導を受ける事例あり ・昨年からの継続実施で、中・高等部の合同作業学習が増加
年間	就労応援サポーター企業等との連携による職場見学、職場実習および作業学習における授業改善 (各指定校)	・生徒や教職員、保護者を対象とした職場見学の実施 ・学校ジョブコーチを配置し、就職希望生徒の職場実習を支援し、評価および授業改善を実施
令和元年 5 月 24 日	キャリア教育担当者会 (兼：教務主任連絡協議会、進路指導担当者会)	・平成 30 年度報告、令和元年度事業説明
令和元年 7 月 9 日	技能検定運営協議会	・県ビルメンテナンス協会から指導・助言を受け、認定大会の運営・評価事項確認
令和元年 7 月 20 日	第 3 回福井県特別支援学校技能検定認定大会	・会場：南越特別支援学校 ・特別支援学校 2 校の中・高等部生徒 11

令和元年 12月 12日	技能検定運営協議会	名（延べ13名）が参加し、級を認定 ・各学校の作業学習（清掃サービス）の実施報告（地域の清掃活動の取り組み事例の紹介等）
令和元年 12月 21日	第4回福井県特別支援学校技能検定認定大会	・会場：南越特別支援学校 ・特別支援学校4校の中・高等部生徒17名（延べ24名）が参加し、級を認定
令和2年 1月 29日	キャリア教育担当者会 （兼：教務主任連絡協議会）	・新学習指導要領の施行に伴うキャリア教育に関する取り組みの教育課程への位置づけについて協議
令和2年 3月 18日	キャリア教育担当者会 （兼：進路指導担当者会）	・就労応援サポーター企業等と連携した取り組み事例の報告

## （2）研究課題

『地域企業等と学校が連携・協力した、生徒のキャリア教育・就労支援および自立や社会参加に向けた教育課程の研究』

## （3）研究の概要

- 福井県が、平成26年度から高等部生徒を対象に取り組んできた地域企業と学校が連携したキャリア教育・就労支援を、中学部生徒にも対象を拡大し、中学部段階から生徒個々の発達段階に応じた勤労観や職業観の育成を行うとともに、P-D-C-Aサイクルによる実習評価等を基にした課題改善のために必要な指導について学校教育活動全体での取り組みに関する研究を行う。
- 作業学習等の学習活動で培った力を試す場として、中学部段階から参加できる福井県版技能検定を実施する。学部を越えた異年齢集団の中で、下級生が上級生の働く姿や高い技能への憧れや級の取得等、個々の生徒が目的意識をもちながら取り組む作業学習等や技能検定などを含む教育課程の在り方に関する研究を行う。
- 各指定校における上記（1）（2）の教育実践研究を通して、キャリア発達の視点を整理し、進路先の選択のみならず、将来の生き方、自立や社会参加に向けた中学部から高等部への系統性あるキャリア教育の在り方について研究を行う。

## （4）研究の成果

福井県において、平成28年度より実施してきた、企業実習や作業学習時の技術指導等の協力を得ている「就労応援サポーター企業」の登録については、新たに14事業所が加わり、累計で259事業所となった。指定校10校では、作業学習において、17の就労応援サポーター企業等の専門家から、食品加工や喫茶サービス、清掃、園芸、工芸（組み紐）等に関する専門的な技術指導を受けた。専門家から指導を受けることにより、生徒の就労意欲の更なる高まりが見られるとともに、指導する教員にとっても専門的な技術を習得する貴重な機会となった。

また、指定校4校では、中学部と高等部との合同作業学習を展開した。年間指導計画を立てる際に、教員間で各学部にとっての意義や作業内容、工夫等について事前に協議した上で実施することで、中学部生徒が高等部生徒の働く姿や高い技能への憧れをもつなど生徒の目標意識の高まりが見られた。

作業学習等で培った力を試す機会として、福井県特別支援学校技能検定（清掃）を指定校および県全体で実施した。「中学部生徒から参加できる検定」として、評価基準を基礎レベルに設定した「校内検定」と、校内検定上級認定者を対象とした「認定大会」の機会を設けた。県ビルメンテナンス協会の協力を得て、評価基準や評価票の検討や指導担当教員向けの研修会、生徒向けの技術講習会を開催し、校内検定における指導に役立てるとともに、認定大会に向けて意欲を高めることができた。

7月と12月に開催した認定大会（延べ37名参加）では、高等部生徒だけでなく中学部生徒の参加もあった。大会において級の認定を受けることで、アビリンピック大会（障がい者技能大会）や国家資格に向けて技術を向上させていこうとする生徒もいた。

キャリア教育担当者会では、各指定校の教務主任および進路指導主任から、専門家を招いた技術指導等の実践・評価の報告や、キャリア発達の視点での教育課程の見直しの検討および授業改善の経過報告をもとに、系統性のあるキャリア教育の教育課程への位置づけに関して協議した。次年度、各校における地域の企業等と連携した実践を、小学部から高等部までの系統性のあるキャリア教育として教育課程上に再整理して位置づけ、「キャリア教育の全体計画表」としてまとめていく予定である。

#### (5) 課題と今後の方策

特別支援学校におけるキャリア教育の充実に向けた取組みとして、地域の就労応援サポーター企業等や外部人材と連携・協力した、作業学習時の技術指導や清掃技能検定を実施した。取組みを通して、生徒の就労に向けた意欲が高まったり、職業スキルの向上を図られたりするなど、個々の生徒については一定の成果が表れている。しかし、学校全体としては、様々な取組みは増えてきたものの、各学部がつながる系統性のあるキャリア教育を教育課程上に見える形で位置付けるという点では課題がある。

そこで、次年度は、以下のような新たな取組みも実施しながら、各校における地域と連携した実践を、小学部から高等部までの系統性のあるキャリア教育として教育課程上に再整理して位置づけて、「キャリア教育の全体計画表」としてまとめていく。その際、地域企業や各校の進路指導担当者に加え、教務主任とも連携しながら協議をしていく必要がある。

(次年度の取組み)

- 地域資源である就労応援サポーター企業を積極的に活用した技術指導の実施
- 農業体験実習や喫茶サービス技能検定など特色あるキャリア教育の実践
- 小学部段階からの地域における社会体験活動の実施